

◆若手教職員研修 (文科省の「実施状況調査」より作成)

研修	2年目	3年目	4年目	5年目
実施都道府県 (%)	18 / 47 (38.3%)	15 / 47 (31.9%)	(調査なし)	41 / 47 (87.2%)
長崎県	実施	実施	実施	実施
	センター	教科外指導力向上研修 すべての職種：2日	倫理・服務規律研修 すべての職種：2日	教科等指導力向上研修 教諭のみ：2日
所属校	教科指導力向上 教諭のみ：2日	教科指導力向上 教諭のみ：2日		社会貢献活動 すべての職種：5日(事務職3日) ※在勤地・居住地周辺で実施

現場からの春闘アンケート 全国的な実施状況を調

「5年目まで毎年実施しなかつたよ」の声

県教委は上記の表のよ
うに、教諭については採
用5年目まで毎年、他職
については4年目を除く
4年間、研修を義務づけ
ています。これに対し、
寄せられています。全国
的な実施状況を調

全国的に若手教職員向けの研修(若手研)が実
施されていますが、長崎県の場合、その実施が突
出していることが高教組のまとめで明らかになり
ました。

高教組のまとめで明らかに

長崎は突出実施「若手研」

4年目での実施につ
いては18、3年目は1
5と、いずれも1/3前
後の都道府県しか実施し
ていません(表参照)。

5年目程度で実施して
いる都道府県は08
年度の46から、2年間
で5(県)減少していま
す。また、研修の平均日
数は高校・障害児学校
では4.5日になつてい
ます。

研修の簡素化が必要

高教組は、学校現場の
多忙化がなかなか解消さ
れず、超過勤務が月に
100時間を超える教職員
が増え続けている現状を
考えれば、一律に研修を
減・簡素化するべきだと考
えています。

諫農分会でふたり

本年度加入数 57人

書記局に諫早農業高分
会から嬉しい加入の知ら
せがありました。それも
若手教職員二人の組合加
入でした。
現給保障廃止問題で一
連の交渉内容や経過を知
った実教の役員を中心
とした働きかけが功を奏し
たものです。
実教の給与は、教育職
1級でスタートします
が、その職務内容から一
定の条件のもとで2級

元気の素 新加入者を迎えて 新年度を

今回の二人の加入で本
年度の加入数は57人
(新規加入12人、再任
用など継続45人)とな
りました。

政府 再任用制の義務化を検討か
定年延長は見送り?

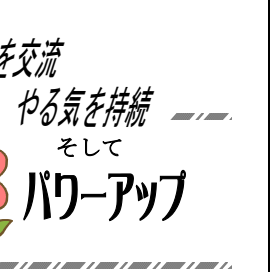
年金の支給は承知のよ
うに、2013年度か
ら段階的に引き上げられ
25年度から65歳とな
ります。
これに併せて、定年の
年齢も段階的に延長され
る見通しでしたが、「民
間で定年延長が進んでい
ない」ことを理由に、定
年延長は60歳のま



発行
〒850-0013 長崎市中央2丁目2番5号
長崎高教組会館 長崎県高等学校教職員組合
☎ (095) 827-5382
FAX (095) 826-2976
編集責任者 平井秀治
一部 10円
高教組メールアドレス
info@nagasaki-kokyoso.org

保障廃止問題の交渉で、
ついに、県教委から今秋
までに「何らかの提案を
する」との前向きな回答
を引き出しました。
こうした情勢のもと、
実教だけでなく団結した
いっそうの力が必要とな
っています。各職場で年
度末にかけて職場活動と
結合して声かけを行い元
気を出して新年度を迎え
ましょう。

○すべての支部代表
者と分会長(代理可)
を対象に3月31日
(土)午後1時から
諫早市・高城会館で
会議を持ちます。
○併せて、青年教職
員(原則)を対象に「せ
んせいのがっこう」
(仮称)を開き、生徒
や保護者を引きつけ



る「学級開き」の仕掛
け方、学級通信」の
作り方を学びます。
こちらは組合加入の
有無を問いません。
○そして、両方の参
加者全員で交流会を
開催します。(会場…
諫早市・道具屋)
○3点セットのパワ
ーアップ集会です。

*前号に続き、第213回定期中央委員会(1/28)での意見(要旨)を紹介し(敬称略)

組織の強化・拡大分野

鈴木鳴満通信...①支部分会の名前を入れれば分...なか役員になってもらえない現状がある。理由としては「忙しい」「何をしたいのかわからない」などがあげられている。忙しい中で、組合としてしなければならぬ最小限のものは何かを検討する必要があるのではないか。



若い世代に引き継ぐために「組合とは何か」「支部とは何か」あたりから深く議論することがいえる。これまで10号くらい出しているが、厳しい情勢が続いているので、が

声掛けを知ってまたやる気になった

②若い人の加入だけでなく、中高年もターゲットにして拡大を進めるべきだと思ふ。定年延長で60歳を超えた職員は7割の賃金にするという案が出ています。今まで特に不満はないと思っていた人も危機感をもつのではないかと。改善させることができるのは組合だけだということに訴えれば、加入のチャンスになるのではないかと。

島雄謙...人事院勧告で現給保障廃止が出されたことに腹が立ったので、職場で情宣するた...と述べた。支部の中で分会情報を出している分会が少なかったため、

この問題を拡大につなげようと、該当の実習教員に働きかけたが、お礼は言われたが、「みんなが入っていないから入らない」という返事だった。2回声を掛けてダメだったのでもうしけそ

うになったが、他の組合員も声掛けをしていて、自分だけが声掛けをしていないんじゃないかと気がついて、またやる気になった。



竹田北農...現給保障廃止についての交渉の速報を全員に配って、職員朝会で発言をした。20代会・30代の人が組合に入らなければ、専従役員もいなくなり、交渉力も低下すると訴えたが、反応

はなかった。人間は言論では動かなく感じました。組合に加入してもらうには、誘う側の人間的な魅力がないといけないと思う。いい授業をしていると言われるか、自分の仕事ぶりについて、足元から考える必要があるのでないかと。

田島波佐見...拡大に本気になろうと訴えたい。労働協約締結権回復の話があるが、それはチャンスである一方で、組合が弱いと交渉で負けてしまつて、今ある権利がはぎ取られることもあるとい

う正念場になる。大村支部では、各分会で1人はなんとか拡大しようと言っている。今、拡大できないと大変。専従体制を維持するために拡大をすすめるよう。

進藤西農...11月25日に西彼支部で「大食事に」と銘打って、組合の役割を確認し、組合員の絆を深めるための会を開催した。未組合員も参加してもらえよう計画していたが、結果的には組合員だけの集まりになった。しかし、定年延長や賃金についての学習や、被災地でボランティア活動

をしてくる組合員の報告も受けて、意義のある交流会ができた。組織の強化という点で大きな意味があった。



井野口(佐商)...分会の中に入っている組合員が

生活・権利分野

分会が動いて要求が実現した

鍛冶謙...定年延長につかの論点が掲載されているが、現場には、まだ

シリーズ7 教育行政に関わる意見 (終)

◆PCソフト「二太郎」を学校PCに入れる標準ソフトとして扱ってほしい。公文書が「ワード」なのはかまわないが、「二太郎」が削除される理由がわからない。ワー

◆特支学校高等部での現場実習の時間外勤務や、休日の巡回指導の時の勤務形態はどうなるのか? (出張?外勤?「サービ

◆様々な研修などは、知らぬ間に推薦され、受講しても、実際に校務を優先して休暇が取れない場合が決定している。

が殆どである。「ノーマル」等を徹底するなど学校一斉に行ってほしい。(島原支部・20代・男)

◆通信制の授業を強制的に押しつけるのはおかしいと思います。しかも、日曜出勤なのに交通費が全く支給されず、です。明らかに間違っていると

◆7回に渡って職場から声を掲載しました。今回で終わります。貴重な意見として県教委交渉などで活用させていただきます。【執行部】



深松鶴洋...鶴洋高校で、自動車による出張の



3・8国際女性デー講演 *講師・江頭清隆さん (佐工定教諭)

被災地支援ボランティア生徒とくんとを語ります。 *午後6時30分 *長崎市・アマランス